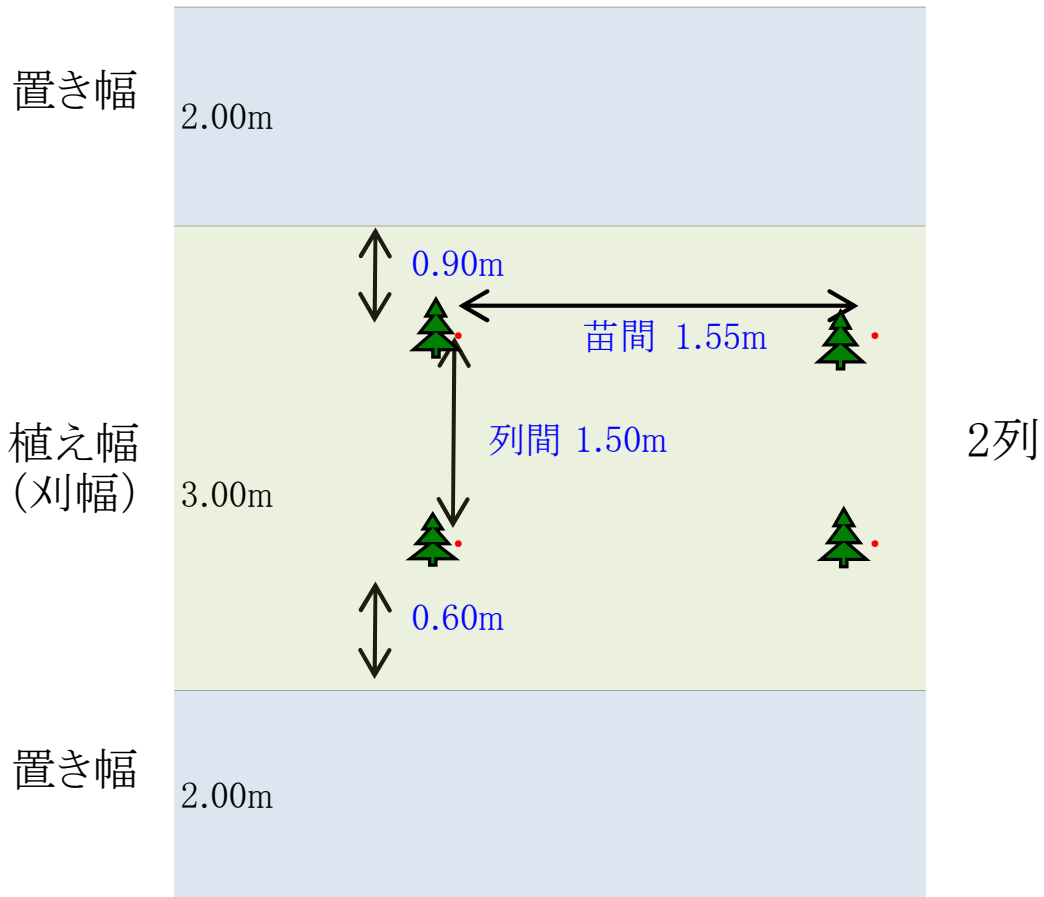


植付標準間隔図

※森林作業道への植栽は行わない

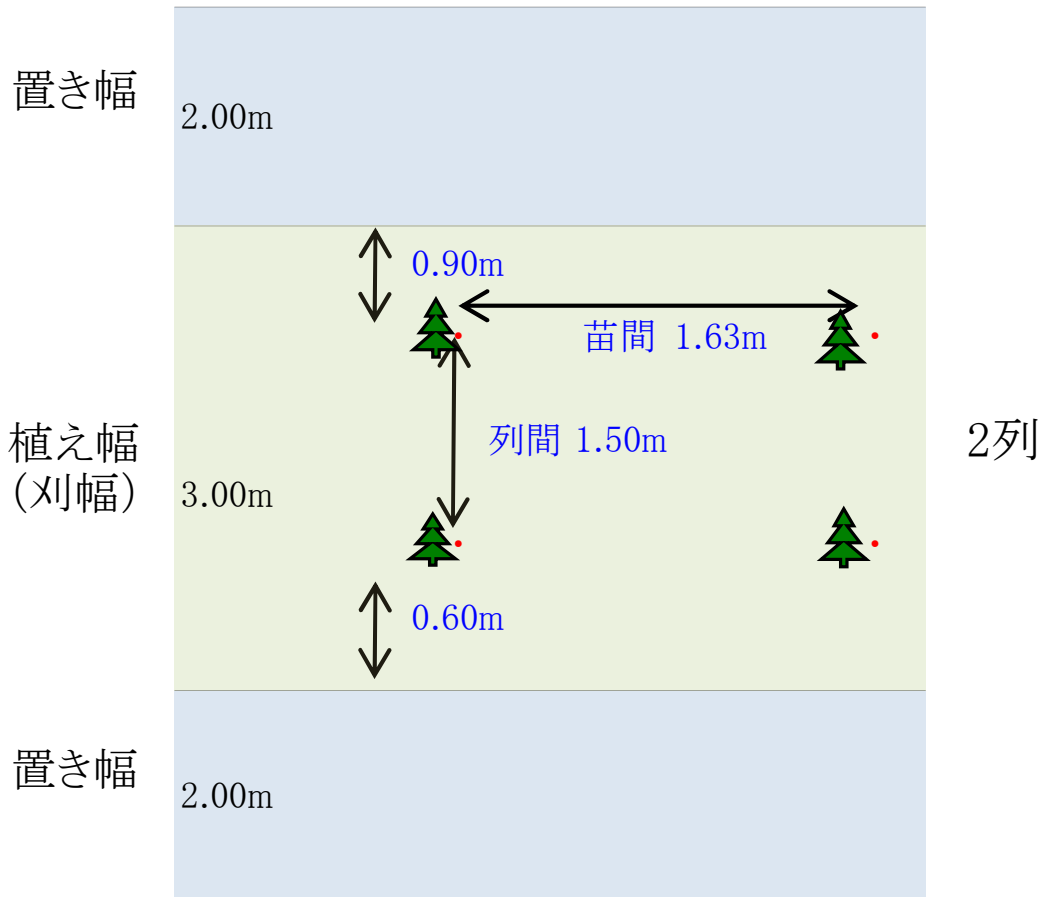


植付本数 2581本/ha

金沢山国有林
1404い、林小班

植付標準間隔図

※森林作業道への植栽は行わない



植付本数 2448本/ha

金沢山国有林
1406に林小班

特記仕様書(防護柵作設・金網)

1. 防護柵資材設計数量

(1) 金網(鉄杭支柱使用)

	金網・上 (巻)	金網・下 (巻)	鉄線 #12 (kg)	支柱(金属) (本)	アンカーピン (金属) (本)	作設延長 (m)
1404い	11	11	14	116	436	272
1406に	43	43	53	450	1692	1057
計						1329

2. 作設仕様

別紙、作設図による。

開口部(出入口)は2箇所(1404い)、8箇所(1406に)程度とする。

3. その他

・特記仕様書で示された資材数量は作設図による標準的なものであることから、作設図により作設しがたい箇所がある場合は、監督職員と協議のうえ実施すること。

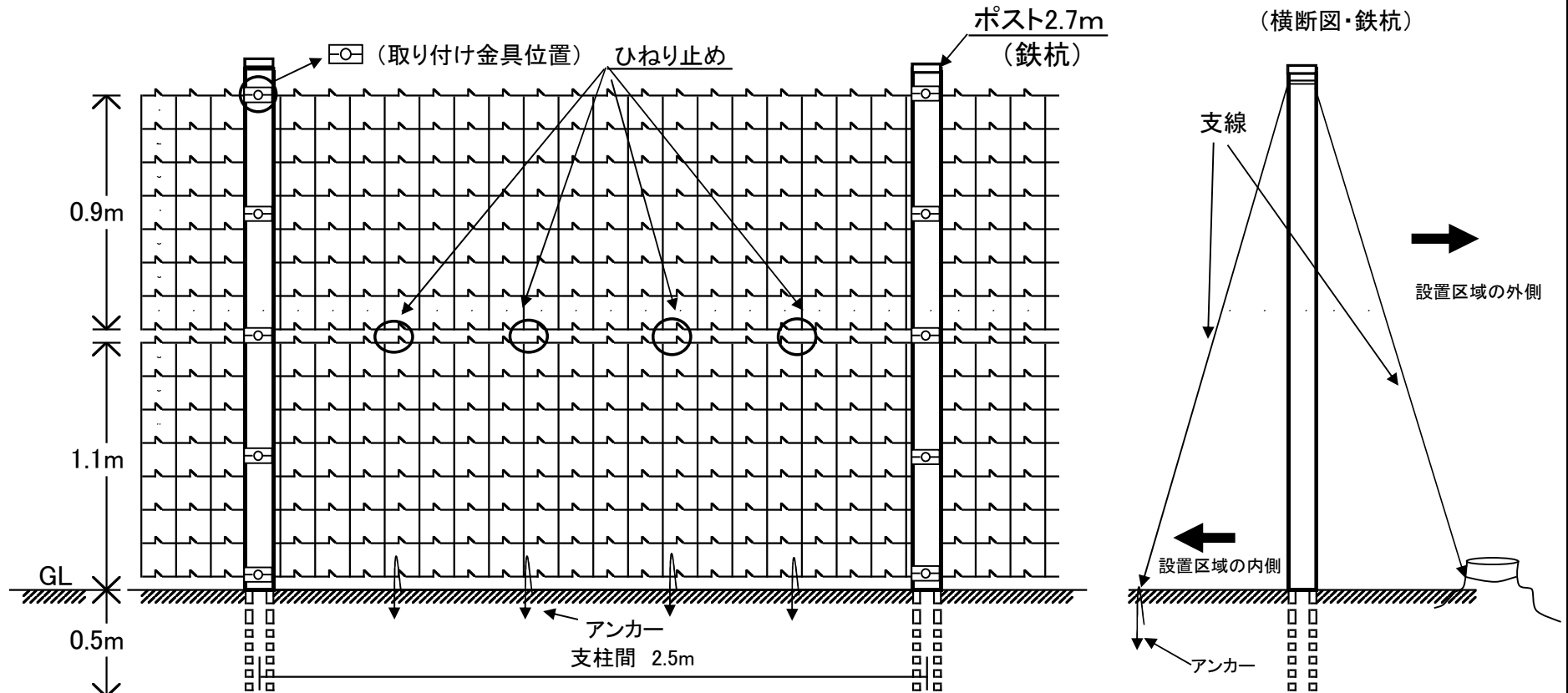
ニホンジカ防護柵標準作設図（鉄杭のみ使用する箇所）

1.ポスト施工時注意事項

- ① 支柱ポスト(鉄杭)の間隔は、2.5mとする。
- ② ポスト取り付け金具(部品)は、ポスト1本に5箇所使用する。
- ③ ポストを埋める深さは、0.5mを目安とする。
- ④ ポストの間隔12.5m毎と、曲がり角には針金で支線を張る。

2.フェンス施工時注意事項

- ① 網の高さ2.0mとする（2段重ね：上0.9m+下1.1m・狭い目の網）
- ② 網は鉄杭を内側とする。鉄杭の場合は取り付け金具を外側から固定する
- ③ 上下の網をポスト間で4箇所以上ひねり止めにする。
- ④ アンカーは、ポスト間に4本打ち込み、網を地面に密着させる。
- ⑤ 入口設置箇所は監督員の指示によること。

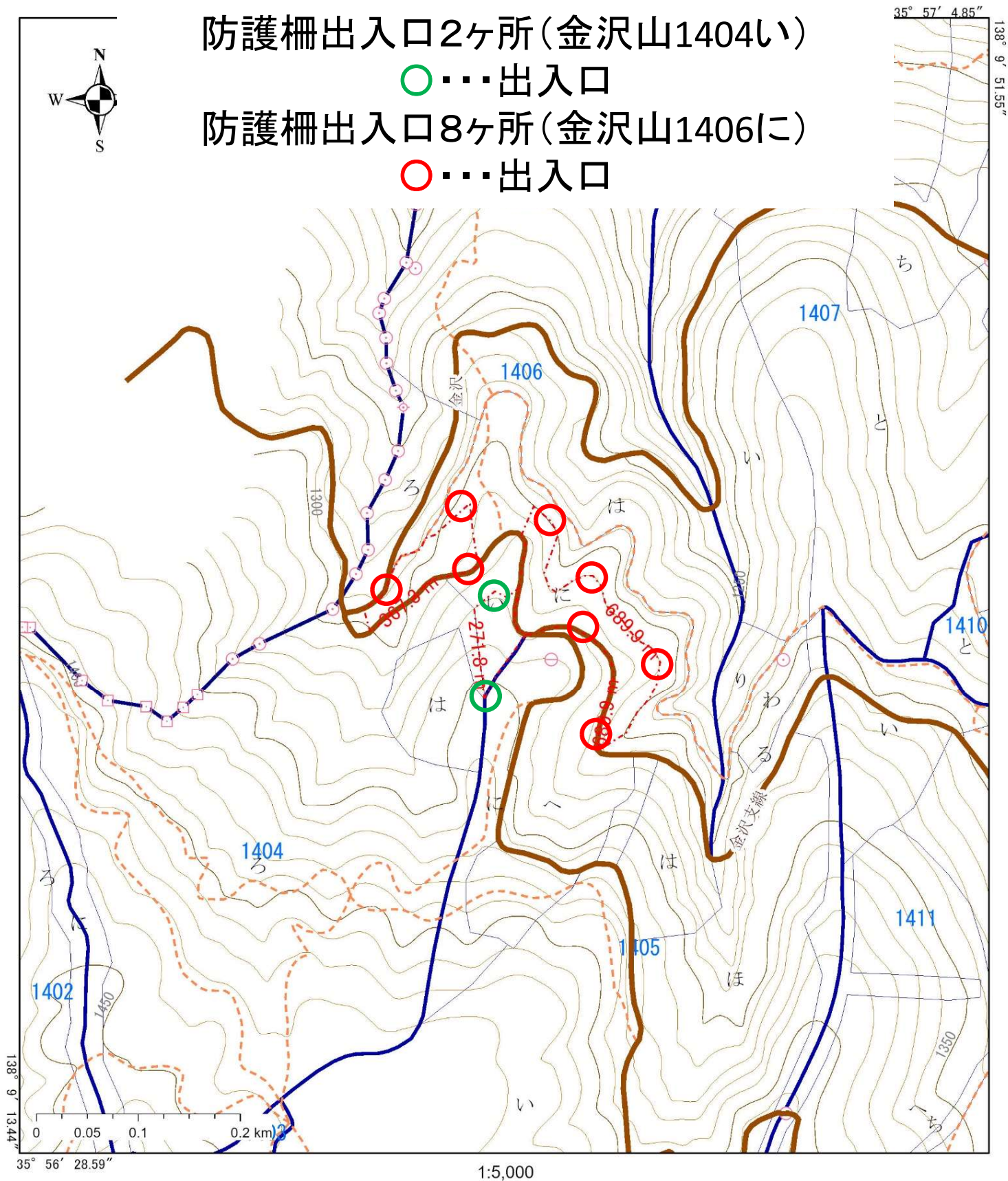


防護柵出入口2ヶ所(金沢山1404い)

○・・・出入口

防護柵出入口8ヶ所(金沢山1406に)

○・・・出入口



XVIII 付帯工事

1 敷砂利工

(1) 敷砂利の調達

砕石は40 mm以下の砕石又は再生砕石を購入すること。

(2) 作業方法

①敷厚は、5 cm以上とする。

②敷均しは、車両系建設機械を使用すること。

③砂利の敷均しに当たっては、別紙「別紙敷砂利工標準図」を参考に、路面の轍跡、凹部に重点的に敷込むこととする。また、穴埋めの際は泥土を取除いた後、砂利等を敷均すこと。

④敷込み区間、敷幅等については、監督員の指示によること。

(3) 出来型管理等

①施工箇所毎（施工箇所の始点、100 mごと、終点）に施工状況を写真撮影する。なお、撮影に当たっては、作業年月日、事業（工事）名、路線名、作業種（工種）、その他参考となる事項を記載した小黒板、標尺等を被写体として、共に写し込むこと。

②砂利搬入及び敷均し数量は、伝票及び事業日報等により整理し監督員の確認印を受けること。

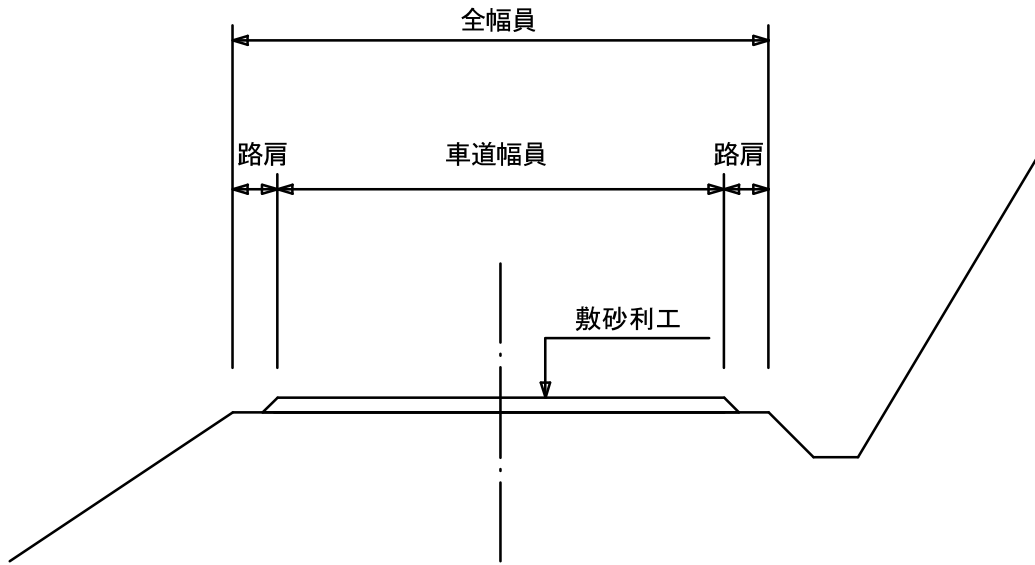
③完成後、上記①②を監督職員に提出すること。

(4) その他

上記によりがたい場合は、監督職員の指示に従うこと。

敷砂利工 標準図

図面
番号



特記仕様書

事業内訳書により個別で事業期間が指定されている作業について、下記期日までに監督職員と調整の上部分完了届等を提出すること。

作業種	提出期限	備考
新植植付、忌避剤塗布(散布)(春)、防護柵作設(新設)	令和8年6月30日	部分完了届
下刈、除草工、敷砂利工	令和8年8月31日	部分完了届
忌避剤塗布(散布)(秋)	令和8年10月30日	完了届

注1: 作業が完了している場合は可能な限り纏めて部分完了届を提出すること。

注2: 契約内容の変更により事業期間が変更された場合は、変更後の事業期間末日までとする。